

四十間堀醫

だより

「四十間堀醫」齋田香住先生書

2020年1月号



1月10日～2月9日

行事予定

- 月曜日 音楽サークル
- 水曜日 手芸サークル
- 木曜日 絵手紙サークル
- 金曜日 健康体操教室
- 1月
- 10日 初詣 弁当献立
- 15日 オカリナコンサート
- 16日 誕生会
- 17日 ハーモニカ
- 20日22日 外出
- 21日 鑑賞サークル
- 24日 喫茶
- 30日 会席膳
- 2月
- 5日 節分会 弁当献立
- 6日 誕生会



もちつき大会



十二月十八日、年末恒例のもちつき大会を盛大に行いました。

会場は熱気に包まれ、よいしょ、よいしょの掛け声に新年への意気込みが感じられました。威勢よく餅をつき、慣れた手つきで餅を丸められる姿を見せて頂き、さすがだなと職員一同感動しておりました。

来年が無病息災で健康に過ごしていただけたらという願いを込めてつきました。つきたての餅は、その日に頂きました。元日にはお雑煮として美味しく召し上がっていただき、皆様からは、「つきたての餅は美味しいね。」と好評でした。

この餅のように、皆様も長く長く、四十間堀醫で生活して頂きたいと願っております。



輝く！ 醫紅白歌合戦



十二月十六日、醫合同行うで初めての行事、会場は塩見縄手醫で「醫紅白歌合戦」を行いました。年末といえば紅白歌合戦。両醫の歌自慢の皆様が美声を聞かせていただきました。

紅組四十間堀醫、白組塩見縄手醫で激闘を繰り広げました。

男性は力強い歌声で会場を虜にし、女性はおしとやかに美しく歌って下さいました。応援にも熱が入り、職員による気の合った応援も行われ、自分たちのチームが勝つんだと両者一進一退の熱戦でした。審査員による厳密な審査が行われ、審査員も両チームの歌声に魅了され、どっちを選んでいいかわからないと頭を悩ませておられました。

気になる結果ですが、記念すべき第一回、輝く！ 醫紅白歌合戦「優勝は、白組の塩見縄手醫となりました。私たち四十間堀醫としては悔しい結果となりましたが、皆様からは案じかったです。来年こそは勝ちたいね。」と来年に向けての意気込みを感じました。

初めての試みでしたが、皆様の笑顔や歓声がとても心地よく感じました。来年は、四十間堀醫が会場です。ホームの声援を力に、必ず勝ちましょう！

クリスマス会



初雪を心待ちにする十二月二十四日、今年もクリスマス会を行いました。

会場は色とりどりのイルミネーションで飾り付けを行い、職員はサンタクロース、トナカイでお出迎えです。顔なじみの職員が楽しそうな雰囲気でお出迎えすると、あら、良く似合ってるわね」と普段以上の笑顔で喜んでおられました。

会はシャンメリーの乾杯で楽しく開始。切り分けたケーキが手元に届くたびに笑顔の花が咲き、職員の余興では「いのちの歌」を清らかに歌いました。

令和元年を楽しく過ごし、迎える新年への期待を膨らませ、来年も「うれし、たのし、くすし」を合言葉に頑張ってください。